

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-142010

(P2006-142010A)

(43) 公開日 平成18年6月8日(2006.6.8)

(51) Int. Cl.

A63C 19/02 (2006.01)

F I

A63C 19/02

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2005-319821 (P2005-319821)
 (22) 出願日 平成17年11月2日 (2005.11.2)
 (31) 優先権主張番号 T02004A000812
 (32) 優先日 平成16年11月18日 (2004.11.18)
 (33) 優先権主張国 イタリア (IT)

(71) 出願人 500544923
 モンド・ソシエタ・ペル・アチオニ
 MONDO S. p. A.
 イタリア、イー12051アルバ・フラツ
 イオーネ・ガッロ (クネオ)、ピアッツァ
 ーレ・エドモンド・ストロップィアーナ1番
 (74) 代理人 100086405
 弁理士 河宮 治
 (74) 代理人 100101454
 弁理士 山田 卓二
 (74) 代理人 100111224
 弁理士 田代 攻治
 (72) 発明者 フェルナンド・ストロップィアーナ
 イタリア、イー12060グリンツァーネ
 ・カヴォウル (クネオ)、ストラダ・グ
 リンツァーネ

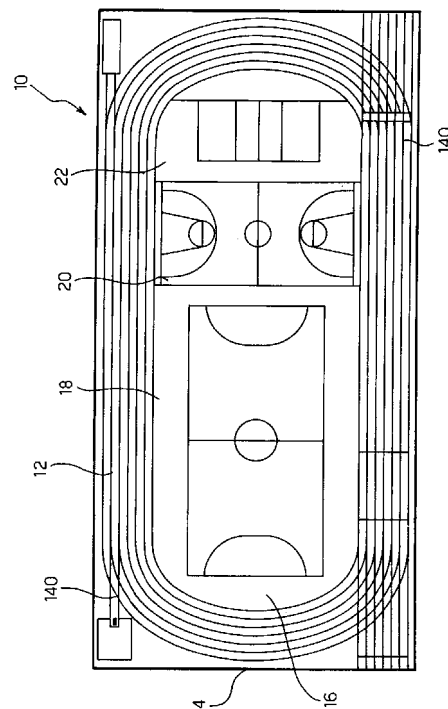
(54) 【発明の名称】 多目的スポーツ施設

(57) 【要約】

【課題】若者が自らの肉体的、精神的適性にふさわしいスポーツを選択し、練習、実施できる多目的スポーツ施設を提供する。

【解決手段】共通の基礎構造を備え、複数のエリア(12、18、20、22)からなり、各エリアはそれぞれのスポーツ活動を実施するためのトラック、ピッチ、またはコートを構成する。前記エリアの1つは、内部にスペースを区画する環状のトラック(12)とし、トラックに囲まれた他のエリア(18、20、22)では、ランニング、陸上競技、サッカー、五人制フットボール、バレーボール、テニス、バスケットボール、ハンドボールなどのスポーツ活動が実施可能である。前記トラック(12)は境界(14)によって囲われ、少なくとも1つの直線側部を含むことができ、また、前記境界の側部に隣接して延びる少なくとも1つの長い直線ストレッチ(120、140)を備えることができる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のエリア（１２、１８、２０、２２）からなる共通の基礎構造を備えた多目的スポーツ施設であって、前記各エリア（１２、１８、２０、２２）が、それぞれのスポーツ活動を実施するためのトラック、ピッチ、またはコートを構成している多目的スポーツ施設。

【請求項 2】

前記エリアの１つが、内部にスペースを区画する環状のトラック（１２）であり、前記内部のスペースが、少なくとも前記複数のエリアの内の他のエリア（１８、２０、２２）を収容している、請求項 1 にかかるスポーツ施設。

10

【請求項 3】

- ー 前記トラック（１２）が境界（１４）によって囲われ；
- ー 前記トラック（１２）が、少なくとも１つの直線側部を含み、
- ー 前記トラック（１２）につながり、前記境界の側部に隣接して延びる少なくとも１つの長い直線ストレッチ（１２０、１４０）を備える、請求項 2 にかかるスポーツ施設。

【請求項 4】

前記トラック（１２）が、比較的短距離のトラックである、及び／又は複数のレーンを備えている、請求項 2 または請求項 3 にかかるスポーツ施設。

【請求項 5】

前記エリア（１２、１８、２０、２２）が、ランニング、陸上競技、サッカー、五人制フットボール、バレーボール、テニス、バスケットボール、ハンドボールからなる群から選択されたスポーツ活動を実施するためのトラック、ピッチ、またはコートを構成している、請求項 1 から請求項 4 のいずれかにかかるスポーツ施設。

20

【請求項 6】

前記基礎構造が、基板（１）から延びる複数の繊維構造（２）を備えた基板（１）と、前記繊維構造（２）の間に分散され、前記繊維構造（２）自身をほぼ直立した状態に保つ粒状充填材料または充填材（３）とから構成されていることを特徴とする、請求項 1 から請求項 5 のいずれかにかかるスポーツ施設。

【請求項 7】

前記充填材（３）が、ポリオレフィンベースの材料、ビニールポリマーベースの材料からなる群から選択された粒状材料のほぼ均質な集合体からなる、請求項 6 にかかるスポーツ施設。

30

【請求項 8】

前記エリア（１２、１８、２０、２２）が、

- ー 前記基板（１）、及び前記基板（１）から延びる繊維構造（２）；
- ー 前記繊維構造の間に分散された前記充填材（３）の特性、

の内の少なくとも１つに関して相互に異なった少なくとも２つのエリアを含んでいる、請求項 6 または請求項 7 にかかるスポーツ施設。

【請求項 9】

前記エリア（１２、１８、２０、２２）が、前記基板（１）から延びる同一の繊維構造を備えた同一のシート基板（１）を有し、前記繊維構造（２）の間に分散された充填材（３）の特性に関して、または前記繊維構造（２）の間に分散された前記充填材（３）の分散特性に関しては相互に異なっている少なくとも２つのエリアを含む、請求項 8 にかかるスポーツ施設。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、スポーツ施設に関する。

【背景技術】

【0002】

50

若者が、自らの肉体的、精神的適性にふさわしいスポーツを選択でき、その練習、実施をすることができるスポーツ施設が提供されることが好ましい。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明は、若者が好む幅広い活動の中から、若者自身の肉体的、精神的適性に最もふさわしいとして選択されるスポーツを、若者が練習し、実施することを可能にするニーズに応えることを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本発明によれば、本願請求の範囲に特に言及された特性を有する多目的スポーツ施設によって前記目的が達成される。請求の範囲は、以下に開示した本発明にかかる技術的教示の主要部分を構成するものである。

【0005】

現状での好ましい実施の形態では、本発明にかかる前記多目的施設は、基礎的運動であるランニングから始まり、個々人によって示される身体能力、適性、抵抗感（特に6歳から18歳までの若者に注意を要する）を評価し、例えば陸上競技、サッカー、バレーボール、テニス、バスケットボール、ハンドボールなどを含む一連の活動の中から個々の若者に最も適したスポーツ活動の選択を可能にする。

【0006】

ランニングから始めた若者は、練習機能を備えた1つの多目的設備において、全ての活動を実施することを通して体を鍛えることができる。その後、若者は1つまたは複数の活動に専念することができ、段階的に能力を伸ばしてより大きな成果を得ることができる。

【0007】

本発明にかかる多目的施設は、各種スポーツのためにトレーニングプログラムの立案を可能にし、さらに、好みの聞き取りによる異なるスキーム（特に、スポーツの選択に関して）や、地域の習慣、異なる地理的領域における文化に応じて計画立案ができるという更なる可能性を含んでいる。本願の多目的施設は、安価に設立可能であるため、予算内での入手が可能であり（例えば賃貸など）、学校、地方公共施設、スポーツクラブなどの団体の利益に資するものとなる。

【0008】

好ましい実施の形態の構成によれば、前記スポーツ施設は、いずれの場合においても周縁部に位置した、例えば比較的短距離（典型的には200メートル）のランニングトラック、及び／又は複数のレーンを含み、これは内部に様々なスポーツ活動を実施するための1つまたは複数のピッチ、コートを囲んでいる。

【0009】

特に好ましい方法において、本願の前記スポーツ施設は、天然芝の芝草を模した基板から延びる複数の繊維構造と、これらの繊維構造自身をほぼ直立状態に保つために前記繊維構造の間に分散される粒状充填材料または充填材（infill）とを備えた、合成芝カバーを基礎構造に使用することによって得られる。

【0010】

前記と同じ基礎構造を維持したまま、例えば前記繊維構造の伸び具合や性質、密度、さらには前記粒状充填材の厚さなどのパラメータを変化させることにより、前記多目的スポーツ施設の異なるエリアごとに、そこで実施される各種スポーツ活動に応じた異なる特性を与えることが可能であり、これをそれぞれの国内組織、国際組織の取り決めに応じたものとする可能性もある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

例示目的に限定し、添付の図面を参照して以下に本発明の詳細を説明する。

添付の図面において、符号10は、多目的スポーツ施設の全体像を表しており、図示の

10

20

30

40

50

実施の形態の例では：

－ 例えば比較的短距離（典型的には200メートル）のトラック、及び／又は複数のレーン（2つから6つ、あるいは8つまで）を備えた陸上トラック12であって、ここではほぼ矩形状の境界14によって周囲を区画され、内部スペース16を囲むものと；

－ 前記トラック12に区画されたスペース10内に作られる、様々なスポーツを実施するための1つまたは複数のフィールド、ピッチ、コート18、20、22と、から構成されている。

【0012】

前記矩形の境界14の寸法は、典型的には長さが100－110メートル、幅が40－50メートルとすることができ、これは合計面積にして5000平方メートルに相当するものとなるが、これらの数値は単なる認識のためであって、いずれにせよ本発明の範囲を制限するものではない。

【0013】

有利なことに、トラック12にはその主要側面に沿って1つまたは複数の直線ストレッチ120、140が設けられ、これは実質的に境界14の全長に延び、例えば短距離走（例えば100メートル走）や、ジャンプ競技（幅飛び、棒高飛び、三段飛びなど）に使うことができる。

【0014】

エリア18、20、22に関して言えば、図1に示す実施の形態の例では、まず、エリア18はフットボールピッチ（5人制フットボール）で、例えば40×20メートルの寸法を有する。次に、エリア20は、典型的な寸法が28×15メートルとなるバスケットボールのコートとすることができ、エリア22は、典型的な寸法が9×18メートルであるバレーボールコートである。

【0015】

当然ながら、ピッチ、コート18、20、22の数と配置のいずれも、さらにはこれらのエリアの性質も、単に例を提供するだけを意図したものであって本発明の保護範囲を制限するものではない。

【0016】

特に好ましい方法では、ここに表示した各種ピッチ、トラック12、18、20、22などの全ては（もしくはこれらの部分の少なくとも1つは）、図2に示すような合成芝カバーの構造を基礎構造として使用することによって得られる。

【0017】

これは、基板1から延びる天然芝の芝草を模した複数の繊維構造2を備えるシート基板1と、前記繊維構造2の間に分散されて繊維構造2自身をほぼ直立状態に保つための粒状充填材料または充填材3とからなる構造である。

【0018】

特に好ましい方法では、前記粒状充填材3は、例えば欧州特許EP-A-1 158 099号に記載されたようなポリオレフィンベースの材料、及びビニールポリマーベースの材料を含む群から選択された粒状材料のほぼ均質な集合体からなる。

【0019】

この構造を使用することにより、所定のピッチやトラック上で実施される特定の競技にしたがった異なる生体力学的特性を各種表面12、18、20、22に付与することを可能にする。これは、前記構造の構成要素（例えば、繊維構造2や充填材3）の特性パラメータを変化させることで得られる。

【0020】

例えば、第1のパラメータは充填材3の粒度である。これによれば、例えば、ピッチ20に示すバスケットボールコートの場合のような高い密集度（すなわち、より大きな「固さ」）が所望されるピッチ、トラックに対してはより小さい粒度を保ち、一方より柔軟で追従性のある特性が所望されるピッチに対してはより大きな粒度が通常保たれる。

【0021】

10

20

30

40

50

充填材に対してもほぼ同様な考慮が当てはまる。同様な考慮は、充填材の名目密度、及びその粒度に関して適用され、さらには分散される材料の量に関する適用される。

【0022】

前記充填材は単なる砂であってもよく、あるいは高い硬度の、あるいは特に好ましい方法では、ポリオレフィンベースの材料、ビニールポリマーベースの材料を充填することでもよい。前記材料の特に好ましい選択は、ポリエチレン、再生ポリオレフィン材料、または再生ビニールポリマである。

【0023】

前記充填材料は、各種運動場12、18、20、22に対して同一であっても、あるいは異なるものであっても良いことは理解されよう。

10

【0024】

各種のトラック、ピッチ、コート12、18、20、22の生体力学的特性を選択的に変更するために介在する可能性のある他のパラメータは、例えば繊維構造2の密度（平方メートル当たりポイント）、及び／又は繊維構造2の長さであり、この内の繊維構造2の長さは、基板1に固定された近接端部（2aで表示）と上方に延びたその遠隔端部との間の距離として特定される。

【0025】

この多目的スポーツ施設の特に有利となる実施の形態では、1つまたは複数のトラックまたはピッチ12、18、20、22に対して、単一の特性を備えた基板1から延びる複数の繊維構造2を有するシート基板1を使用することが考えられる。この場合、各種エリア12、18、20、22の生体力学的特性の差異は、主に充填材3の特性、及び／又は前記基板上への材料自身の分布特性によって得られる。

20

【0026】

ここに述べる前記多目的スポーツ施設は、敷設の便宜さと、各種トラック、ピッチ、コートの再配置（数、位置、向き、その特性の変化、さらに時に応じて変化する要求への対応）の便宜さとの双方に関して適しているという更なる利点を有しており、加えて、例えば欧州特許EP-A-1 319 753号に記載された方法に従い、特に構成材料の再生を行うための撤去活動の便宜さに関する適しているという利点を有する。

【0027】

本発明にかかる多目的スポーツ施設のために使用可能なカバーの構造の有利な実施の形態の変形は、欧州特許EP-A-1 375 759号、EP-A-1 371 779号、及び欧州特許出願03425369号、あるいは欧州特許EP-A-0 874 105号、EP-A 0 913 524号に記載されている。

30

【0028】

当然ながら、本発明の原理に反することなく、構造の詳細や前記実施の形態は、ここに記載し、表示したものに対して本発明の範囲から逸脱することなく幅広く変更することが可能である。

【図面の簡単な説明】

【0029】

【図1】本発明にかかる多目的スポーツ施設の全体平面図である。

【図2】図1に示すスポーツ施設の基礎表面の部分の理想的な垂直断面を示す概略図である。

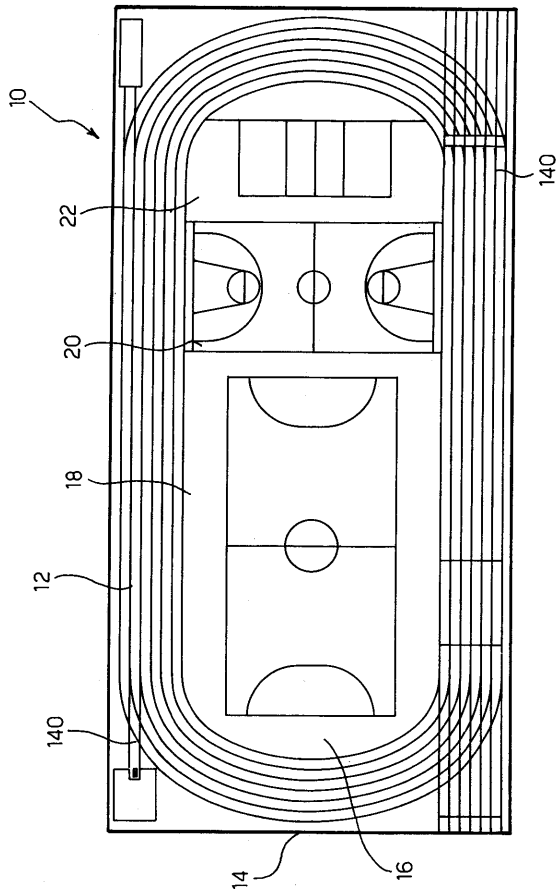
40

【符号の説明】

【0030】

1. 基板、 2. 繊維構造、 2a. 近接端部、 3. 充填材、 10. 多目的スポーツ施設、 12. 陸上トラック、 14. 境界、 16. スペース、 18、20、22. フィールド、ピッチ、コート、 120、140. 直線ストレッチ。

【図 1】



【図 2】

